

あなたと町政を結ぶ



みのぶ 議会 だより

もくじ

○町民と議員との懇談会	2
○一般質問（7人）	5
○常任委員会レポート	12
○質疑・討論	14
○議案に対する賛否	15
○組合議会報告	16
○追跡	17
○町長行政報告	18
○モニター通信	19
○おじゃまします	20



いい子になあれ

2019
12月定例会
No. 61



過去の議会だよりは、
こちらから閲覧できます。

長塩の獅子舞（1月13日）

との懇談会 ● ● ●



下部地区

とき 令和元年11月9日(土)
午後7時30分から午後9時15分

会場 下部地区公民館 古関分館

参加者 計22人
(町民8人、議員12人、事務局2人)

質疑応答

Q1 6月議会と9月議会の一般質問の概要が次第の裏面にあるが、議会では質問を1回もしない人がいると聞いた事がある。議員は質問をすることが役割ではないかと思うが。

A1 議会活性化のために基本条例を作った。一般質問に関しては誰がしなくてはならないのではなく、むしろ議員全員がすべき仕事だと思う。

Q2 度々飛来するアメリカ軍の飛行機の低空飛行について、何も言えないのか。

A2 日米地位協定というものが、何とも言えない。

Q3 猿の捕獲に有効な罠について、一般質問があったが、先日、猿の群れが来て畑の「あけぼの大豆」を荒らしていった。自分たちが作った作物を猿に持っていかれると生産意欲が衰えてしまう。猿捕獲に有効な罠の計画を是非勧めてほしい。

A3 これから冬に向けて餌がなくなり、困り餌が有効になる。町では地域の要望を踏まえ検討すると言っている。これから導入にむけて要望していく。

Q4 農家の人が、拠点施設に枝豆を出せなかったという事を耳にしたが。

A4 枝豆が成熟していなかったのでは引き取りが出来なかったのではないかと。

Q5 三沢市之瀬バイパスを実現する会だが、西八代縦貫道路整備期成同盟会の復活をお願いしたい。

A5 町は、市川三郷町と検討している。

Q6 台風19号で水路の取水口が埋まってしまった。組で取り除いたが、水路は防火用水として利用しているので消防関係で対応して欲しい。

A6 交通防災課に問い合わせる。

Q7 今回「広報みのぶ」の決算報告には一般会計は載っていたが特別会計が載っていなかった。来年度は載せるように指導してほしい。

A7 指導はできないが要望はする。

提言・意見・要望

○ハザードマップを作っているそうだが、体の不自由な人にも分かるよう音声で知らせるものを作ってもらいたい。

町民と議員



身延地区

とき 令和元年11月16日(土)
午後7時30分から午後9時00分

会場 身延総合文化会館

参加者 計21人
(町民6人、議員13人、事務局2人)

質疑応答

Q1 借金である町債が105億円、貯金である基金が81億円、基金を全額使って町債を返したら町債が24億円になり、利子が減って良いではないか。

(久那土地区 男性)

A1 基金は32件有り、それぞれの目的がある積立基金なので、他の目的の町債の返済に使えるものではない。町債の中には繰り上げ償還ができるものとできないものがあり、町の財政担当は年度の収支状況を見て、繰り上げ償還を可能な範囲で計画している。

Q2 下山には国道沿いに車が駐車できる空き家が27軒程あるので、空き家対策・過疎対策として有効活用ができないか。転入世帯には多額な補助金を出すことも考えられないか。

(下山地区 男性)

A2 空き家バンク制度もあり、持ち主に声掛けをしても、お盆・正月は利用する等の理由で貸し家に同意する人は少ないと聞いている。補助金は移住・定住の促進事業として、新築・購入・引っ越し祝い金等の制度がある。また、移住者対策も大事だが、現住民の生活が楽しく過ごせる政策も重要だと考える。

Q3 過去に町立保育所の民営化も提案されたが、保育所の統合は。

(身延地区 男性)

A3 小中学校のない下部地区の地元議員としては、小規模でも現状を維持するように希望する。

Q4 下山の富士川右岸に残土の山があり、何れ平坦にすると思うが、その時期と、その後の活用内容を議会は知っているか。私案だが、水素基地の活用は考えられないか。

(下山地区 男性)

A4 町から議会への説明は受けていないが、中部横断自動車道が全面開通した翌年度に道路兼用堤防として完成する計画だと国交省から聞いた。平坦地の活用については、一部を防災拠点にというのは聞いたことがあるが、その他の利活用については聞いている。

提言・意見・要望

○本町の子育て支援は素晴らしいと思うが、その助成金・祝金等の制度について周知不足なので、インパクトのあるPRを望む。(豊岡地区 男性)

○クラフトパークのしだれ桜5千本、みのぶ自然の里オープン、あけぼの大豆等、観光に力を入れているというが実感が湧かない。どこを活用して、町の収益が上がるのか、町の観光はどこを指すのか議論を願う。(身延地区 男性)

○政務活動費を要求して、議員はレベルアップを図ったかどうか。

(久那土地区 男性)

※本議会では政務活動費はない。

懇談会の 目的

身近な議会と議会の活性化を図るため、議員が議会の運営状況や課題の取り組み状況について報告し、町民の皆さまからの意見や要望を聴き、意思の疎通を図ることを目的に実施しています。



中富地区

とき 令和元年11月30日(土)
午後7時30分から午後9時00分
会場 中富地区公民館大須成分館
参加者 計21人
(町民8人、議員11人、事務局2人)

質疑応答

Q1 30年度決算意見書では人件費が増額となっているとしているが、減らす対策を考えているか。

(久那土地区 男性)

A1 議員定数は合併当初からかなり減少した。又、職員定数も正規職員は202人で、合併当初に比べると概ね57人程減少している。

Q2 地方議会の議員のなり手不足が全国的に報じられているが、議員の厚生年金制度について議会はどうか考えるか。

(豊岡地区 男性)

A2 以前はあったが、現在はない。議員のなり手不足の一因ともいわれており、国に要望している。

Q3 身延町総合文化会館の閉館時は駐車場へも入れない状況で不便である。管理も大事だと思うが、利用者の立場に立った開放が出来ないか。

(豊岡地区 男性)

A3 夜間等の管理上の問題があると思うが、監視等のハード面をクリアし、利用し易い方法を検討するよう伝える。

Q4 70歳以上の高齢者が使用している車両に対する助成措置を。

(豊岡地区 男性)

A4 9月定例会の一般質問で他の自治体の動向や関係部署と協議し、研究検討していくとの答弁を受けた。

Q5 キーテック(合板工場)は町内産木材を受け入れるか。

(豊岡地区 男性)

A5 現在、県外産の木材を原料としているが、町内産の杉、ヒノキ等も受け入れるとしている。

Q6 自然の里における平常時(昼時間帯)の入浴等の活用は。

(大須成地区 女性)

A6 みのが観光センターへ指定管理委託して運営しており、運営上可能か伝える。

提言・意見・要望

○大塩地区から久成地区へ続く町道(トンネル付近)がバリケードで長期間規制されている。早期に改修工事をされたい。(大須成地区 男性)

○避難所に、Wi-Fiが使える避難所とするよう要望する。

(豊岡地区 男性)

Wi-Fi (ワイファイ) とはパソコンやテレビ、スマホ、タブレット、ゲーム機などのネットワーク接続に対応した機器を、無線(ワイヤレス)で LAN (Local Area Network) に接続する技術。



いとう たつみ
伊藤 達美 議員

※町ホームページの議会映像から一般質問の様子等が閲覧できます。



ここが聞きたい！ 一般質問

問 令和2年度予算編成の基本的な考え方は

答 人口減少対策をさらに強化する

問 町税や地方交付税など一般財源の確保が厳しくなる中、令和2年度の予算編成の基本的な考え方は

町長 大きな課題は少子高齢化と人口減少対策、雇用の創出など。今後一層の取り組みを推し進めていく。

第2次身延町総合計画に沿った取り組みにおける第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略において、日本一のしだれ桜の里づくり事業、あけぼの大豆六次産業化事業、みのぶ自然の里のオープンなどの事業を展開し、身延町の魅力を発信してきた。また、子育て世代への支援や学校教育費等の充実においても、全国トップレベルの施策を推進してきた。さらに令和2年度から取り組む第2期創生総合戦略の施策も予算措置を施し、本町の諸課題に対応していく。

本町の財政指標は県内団体の中でも極めて健全である。しかし、令和2年度予算編成の基幹的財源である地方交付税は今年度、合併算定替えが終了し、一本算定での交付となる。

歳入財源は厳しいが、令和の時代にふさわしい明るい未来に向けて、私が先頭に立ち、職員とともに英知を結集し、スピード感を持って最大限の効果を上げるための予算編成を目指す。

問 政策的経費(投資的経費)の来年度主要事業は

財政課長 令和2年度投資的
主要事業は、3つの積極的な予算計上を考えている。

第一は、身延中学校建設事業。2年度には用地取得、各種調査を実施し、3年度にかけて基本設計および実施設計に取り組んでいく。施設建設は4年度から5

年度に施行し、6年度の開校を目指す。

第二は、旧大河内小を改修して進める大河内複合施設整備事業。2年度に改修工事を行い、3年度から使用を開始する。

第三は、下部温泉駅前に日帰り温泉を併設した健康増進スポーツ施設を建設する健康増進施設建設事業。PFI導入可能調査の結果を踏まえ、4年度開業に向けて取り組んでいく。

これら事業は、合併特別事業債の事業実施期限が6年まで延長されたことにより、有利な地方債による事業財源が確保された。担当課を中心として庁内全体の協力体制により、事業計画が遅滞なく実施できるよう取り組んでいく。

台風19号に伴う避難体制

問 災害弱者避難方法の啓蒙・啓発活動は

交通防災課長 災害発生時の避難行動要支援者については、要配慮者名簿を作成し、防災訓練説明会時に各自主

防災組織に配布して地域での確認をお願いしている。搬送方法の訓練も行っているが、要配慮者への支援は、地域での共助が大切。各地区へは地区防災計画の策定をお願いしていく。

町内観光関連ホームページ

問 町ホームページ観光サイトの刷新は

企画政策課長 運営者ごとに観光情報を発信している観光サイトの統合、また、発信力の充実・強化については、観光情報発信の所管である観光課と連携する中で今後検討していく。



の じ ま と し ひ ろ
野島 俊博 議員

問 昭和34年台風7号及び本年15号・19号に何を学ぶ

答 過去及び今回の台風を教訓に更なる防災対策に努める

問 昭和34年台風7号、先の台風15号・19号に学び、本町における過去の台風災害の教訓、また各区および地域から出されている区の要望事項等、どのように検証し対応しているのか

建設課長 県道9号線沿い帯金地区は、国が管理する富士川と県が管理する大久保沢川、入之沢川、泥之沢川が流れ、過去、昭和34年災害をはじめ、富士川の増水及び内水氾濫により、帯金地区に甚大な被害をもたらした。

地域住民からも「土砂および立木の撤去等」の強い要望を受け、その都度、各々管理者が土砂の撤去等を実施している。今後も富士川においては、砂利採取により適正な河道の確保を国に要望、支川においては「砂防堰堤の新設」、また「山腹崩壊防止」を県に強

く要望していく。



昭和34年台風7号水害状況
旧帯金小学校付近（富士川の氾濫）



令和元年台風19号水害状況
帯金南口スクールバス停付近

問 災害対応能力の観点から、町が持っている備蓄品と県の備蓄品の把握が必要。この件は、相互に情報を共有しなければならぬが、本町の現状は

交通防災課長 県と市町村でそれぞれの防災資機材や生活必需品を備蓄しており、その備蓄数量の情報については共有をし、山梨県地域防災計画に県内市町村の備蓄品名や数量が記載されている。

災害関連死対策 平成28年の熊本地震では直接死は50人、被災が長期化することによる過労や環境悪化などによる病死などの内科的死因に基づく死と規定される災害関連死はなんと215人と全体の死者の80%が関連死という驚愕の事実が突きつけられた。

交通防災課長 地域防災計画・一般災害編の避難所の管理運営の留意事項として記載、身延町災害対策本部の健康増進班の事務にも被災者の健康管理等の事務分掌の規程がある。

また、避難所運営マニュアルや身延町災害時等医療救護マニュアルにも避難所における保健衛生活動に避難者の健康管理のための活動の規程も記載してある。

以上のマニュアルに基づき、災害関連死の防止対策を図っていく。



もちづき ろろう
望月 悟良 議員

問 身近な集落公民館を避難所に

答 施設の状況により指定は可能

問 台風19号による指定避難所への避難者数は

交通防災課長 29カ所の避難所を開設し、619人が避難した。要支援者等の内訳では65歳以上の高齢者、幼児等を合せて323人であった。

問 避難所への経路は急傾斜地や土石流危険渓流等を通るため、身近な集落公民館を避難所にできないか

交通防災課長 今回、区又は自主防災組織において集落公民館を自主的に開設した地区もあった。今後、地区防災計画作成の折には一時避難所として登録していたり、施設の状況により指定避難所とすることは可能である。

建設発生残土の現状と処理後の土地の有効活用

問 曙（江尻窪・遅沢）地区へ搬入している中部横断自動車道建設に伴う残土処理の現状と、リニア建設に伴う建設残土処理場の計画は

建設課長 国土交通省による中部横断自動車道建設に伴う残土処理は、江尻窪地内において平成24年から進められ、10年間で9.7ヘクタールへ200万m³を処理する計画となっているが、一部下山区の護岸築堤等に使用されたため、現在40万m³が処理されている。

残土処理後の町の活用計画では、「あけぼの大豆」の圃場計画等があるので、早期達成を国へ要望している。

リニア建設に伴う建設残土処理は、遅沢地内のおよそ6.6ヘクタールへ令和元年

度から10年間で130万m³が処理される。



中部横断道残土処理地（江尻窪）

学校施設の環境整備事業と安全対策

問 身延中学校新校舎建設事業の進捗と安全対策は

施設整備課長 「身延中学校新校舎等整備基本計画策定委員会」において協議され

た内容が提言書として取りまとめられ、この提言書を基に関係各課と調整を進め、基本計画の策定に向け、取り組んでいる。

問 建設予定地の安全性は

施設整備課長 国土交通省における富士川浸水想定区域では、建設予定地の下山小学校周辺付近は、破堤基準点における浸水区域外となり安全性はクリアされる。また、富士川堤内の河川氾濫に伴うバックウォーター現象に対する内水面への災害対策に備えて、樋門の設置も計画されており、安全性が高まる。

【その他の質問】

・「大雨・洪水警報」の周知方法
・中学校新校舎建設に向けた令和2年度事業内容



いとう おなみ
伊藤 雄波 議員

問 鳥獣被害対策にキャロライナ・リーパーを

答 新たな対策の手法として期待

問 町内での地域別鳥獣被害は

産業課長 あけぼの大豆の生産が盛んな中富地区ではニホンジカ、ニホンザルによる大豆や水稻の被害が頻発し、身延地区ではニホンザルによる野菜類の被害やニホンジカによる水稻の被害、下部地区でも同様にニホンザルによる野菜類の被害やイノシシによる被害の相談があった。

問 町内の団体が、鳥獣被害の対策にキャロライナ・リーパーを利用する取り組みをしている。評判がよいと聞いているが、町はどのような効果が出ているのか把握しているか

産業課長 現在、栽培技術の向上と農作物への被害防除の実証を行っている。キャロライナ・リーパーが鳥獣被害の軽減に

効果があるとの情報があるが、具体的な効果や刺激物であるため他の農作物への被害がないか更に実証を進め、新たな鳥獣被害対策手法として確立されることを期待している。



キャロライナ・リーパーの試験栽培地（下山）

みのぶ乗合タクシー



キャロライナ・リーパー

問 高齢な利用者が乗合タクシーの乗車中に突然具合が悪くなった時、当事者または他の利用者への対応や、清掃方法等についてのマニュアルはあるか。また、今以上に利用者へのきめ細かな対応が求められるが、何か対策は考えているか

交通防災課長 みのぶ乗合タクシーは、町内の交通事業者3社と委託契約を結び運行している。現在、統一的なマニュアルはない。高齢の利用者に対しては、乗降の際には可能な限り注意深く様子を見て、声かけや手助けなどを行うことで

利用者に安心して利用していただけるように各運行事業者に働きかけていくとともに、乗合タクシーの運営をしている身延町地域公共交通活性化協議会の中でもマニュアルの作成を検討していく。

健康増進施設

問 下部温泉駅付近に計画している健康増進施設事業の進捗状況は

施設整備課長 基本計画に反映するため2回の地元説明会を開催し、意見要望等を聴取したところである。今後の建設計画は、令和2年度に参入企業を選定して施設の実施設計、敷地造成工事、温泉管の布設工事を予定している。3年度においては施設の建設工事と外構工事、駐車場整備工事を予定している。



あしざわ たけひろ
芦澤 健拓 議員

問 西八代縦貫道整備促進期成同盟会の再開は

答 市川三郷町と協議中で令和2年4月再開予定

問 西八代縦貫道整備促進期成同盟会の復活継続と再開は

建設課長 同盟会の再開については市川三郷町と協議中で、令和2年4月に再開する予定。

問 同盟会の名称を「市川三郷身延線整備促進同盟」に変更してもよいと思うが、両町での協議は

町長 名称変更には規約の改正と総会決議が必要。市川三郷町と協議する。

問 今後は、市川三郷町と2町で活動することになるが、従来の各町負担金十万円では不足ではないか。増額の見込みは

建設課長 従来、負担金の範囲内で活動してきたが、総会再開後の活動内容により、市川三郷町と協議する。



早期実現を目指したのぼり旗（三沢）

問 県の調査費の予算化を要求していくことが必要だが

町長 遠藤浩県議、望月利樹県議の一般質問や、1万人を超える多数の署名の重さを考え、今後も早期着手早期実現に最大限努力していく。

問 地区別人口をみると、身延地区、中富地区は減少率30%だが、下部地区は40%である。下部地区の復活のために三沢市・市之瀬間バイパスの早期実現が、最も望まれる。県の市町村課長を務められた町長が人脈を生かして関係者にPRしてもらうことは

町長 山梨県社会資本整備計画に組み入れてもらうことが必要。県庁の部長たちが同年代であり、PRして県庁内でも話題にのぼるよう努力する。

子育て支援日本一の評価は

問 子育て支援日本一の評価の指標は、移住者・子育て世代女性の増加、合計特殊出生率の上昇等か。
また、有効なPRについては

誘致企業の利便性を

町長 総合戦略の一環だが、結婚・出産、子育て環境の充実を目指している。宅地分譲や空き家バンクなど、移住者受け入れのための施策も展開している。
子育て支援のPRについても工夫して首都圏へ発信している。

問 峡南地域中核工業団地の企業の利便性を図り、成長を図ることは町と議会の使命であると思うが

町長 工業団地の企業と関係部署との調整等の相談窓口として企画政策課でアンケートや聞き取り調査を実施して総合戦略に反映していく。



わたなべ ふみ こ
渡辺 文子 議員

問 飯富病院の存続を心配する声があるが

答 この地域になくてもならないが課題もある

問 再編が必要な県内7病院の中に飯富病院があり、飯富病院がなくなってしまうのではないかと不安がひろがっているが

町長 この地域の医療・介護の拠点として重大な役割を果たし、地域になくてもならない病院だが、人口減などの課題について検討していく。

問 今後、どう対応していくのか

町長 早川町や飯富病院の関係者、病院議会とも協議し、必要とされる医療提供体制を検討していく。

防災・減災対策

問 防災無線の放送で勘違いした住民がいたが、その対策は

交通防災課長 下部体育館と放送したが下部町民体育館と間違えた住民もいたと報告があった。今後、放送文は、旧下部中学校体育館に変更する。

問 避難所に行った住民から台風の情報がなく不安だったと聞いた。ラジオやテレビなどがあると良いと思うが

交通防災課長 避難所を開設した職員からもラジオ等の

要望があり、配備をしていきたい。テレビも今後、検討したい。

問 将来的にペットと一緒に避難できるようにする必要

があると思うが

交通防災課長 今後、関係部署等とも協議する中で検討していきたい。

加齢に伴う難聴者の補聴器購入に補助制度を

問 加齢による難聴は認知症にもつながりやすいと言われている。高額な補聴器の購入に補助制度を

福祉保健課長 現在、加齢による難聴の方の実数も実態も把握していない。助成が本来に必要などうかという観点から考えていきたい。

主任児童委員が6人から3人に減らされた理由は

問 児童数は減少しているが、主任児童委員の役割は大きく重要になっている中でみなさん困難事例をかかえてがんばっている。今回の全国一斉改選で6人が3人に減らされた理由は

福祉保健課長 県からの要請に応え、総合的な判断のもとに主任児童委員を6人から3人に変更した。

主任児童委員とは

主任児童委員の活動は、児童委員活動をより一層推進するため、次の活動等を行う。

- ①子育て支援活動
- ②児童健全育成活動
- ③個別支援活動の分野で区域を担当する民生委員・児童委員と連携・協力して活動に取り組み子どもが安心して豊かに暮らせる地域作りを目指した活動



飯富病院



たなか かずやす
田中 一泰 議員

問 身延中学校建設予定地の安全対策調査は

答 令和2年度に地質・土質調査を実施する

問 身延中学建設の用地取得の予定面積は

施設整備課長 合計は1万9045㎡で、下山小学校グラウンド全体と同等規模の広さで、その中に校舎、体育館、武道場、給食センターを配置する予定。



中学校建設予定地

問 建設予定地の安全対策で地盤の調査が必要であるが、調査の方法、時期は

施設整備課長 現在の建設計画では、令和3年度に敷地造成工事、4～5年度の2カ年で校舎、体育館などの建設工事、その前に2年度において地質・土質調査のため、ボーリング調査を実施する予定。

施する予定。

問 安全性の確認判断はどのようなのか

施設整備課長 ボーリング調査の結果を、建築基準法に基づいた文部科学省、中学校施設整備指針に従って建築士の判断により確認する。

問 南海トラフ巨大地震が発生した場合、身延町の予想震度は7と想定されている。安全の確保の計画はどうか

施設整備課長 建築基準法に基づいた中学校施設整備指針に従い地震対策を講じた施設の設計構造にする。

問 建設予定地の水害対策についてはどう考えているのか

施設整備課長 富士川右岸の護岸整備工事が進められており、想定されている浸水による被害区域は、安全性

が高まり改善されるものと考えている。

通学費用

問 通学費用の増加の問題について、1億円ぐらいで納められると聞いたが、いくらを想定しているのか

学校教育課長 検討を行っており、現時点では根拠のある額を答えがでる段階ではない。

問 身延高校の中高一貫校の成功が重要なことである、中学校が遠のくことに関しては、どのように考えているのか

学校教育課長 県教委に対し、身延高校、身延中学校・南部中学校への十分な教員の配置を要望し、引き続き連携型中高一貫教育に取り組んでいく。

身延中学校新校舎等整備事業 年次計画予定

令和2年度 (2020)												令和3年度 (2021)												令和4年度 (2022)				令和5年度 (2023)				令和6年度 (2024)							
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			
地質・土質 調査												実施設計												建設工事								新校舎 竣工							
基本設計												敷地造成工事																											
												周辺整備工事 (町道・用水路)																											

常任委員会レポート

※議案第80号の審議は教育厚生常任委員会との連合で実施した。

総務産業建設常任委員会

委員長 野島俊博

▼議案第72号

付属機関設置条例の制定

総務課関係

問 会計年度任用職員に関する運用が厳格化されるが、付属機関設置条例は全く別なものか

答 特別職の非常勤職員の任用が厳格化されるために制定するもの。

問 付属機関に町長部局では「いじめに関する重大事態特別調査委員会」があり、教育委員会部局では「いじめ防止対策委員会」があるが、これはどのように違うのか

答 いじめがあった場合には、最初に学校が対応し、学校で対応できなかった場合に「いじめ防止対策委員会」で対応。保護者が納得しない場合は、「いじめに関する重大事態特別調査委員会」を開かなければならない。

問 条例にない機関を入れたということか

答 付属機関の扱いが地方公共団体により異なる。条例で定めて厳格化するのが、今回の制定理由。

▼議案第73号

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例

総務課関係

問 第2条第4項の「3年を超えない範囲内」を、「法第22条の2第2項の規定に基づき任命権者が定める任期の範囲」とするとあるが、この範囲は

答 正規職員は3年まで認められ、会計年度任用職員は、任用が1年となり、3年は認められない。任命権者が任用する期間までとなる。

▼議案第74号

国民健康保険税条例の一部改正

税務課関係

問 今回の条例改正の概要は

答 全9期の納期毎の金額を平準化するためのもの。

▼議案第76号

新町建設計画の変更

企画政策課関係

問 新町建設計画は延長しなければならぬのか、その根拠法令は

答 東日本大震災等に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律に基づき計画期間を延長するため、旧合併特例法に基づき議会の議決が必要となる。計画の期間を5年間延長すること、合併特例債の発行を5年間延長させることが可能となる。

▼議案第80号

一般会計補正予算

財政課関係

問 消防車両・消防ポンプ整備事業の歳入で地方債を振替えているが、どの時点で替えるのか

答 地方債は当初予算に計上し、その後、国と県により適償性の判断を受ける。今回の消防車両・消防ポンプ整備事業は、緊急防災・減災事業債を活用することとなり、過疎対策債等から振替えを行うこととなった。

問 教育施設整備基金積立金の計上は、なぜ今なのか

答 9月定例会で決算、繰越額の承認がされ、また、令和元年度の普通交付税が確定し、今年度の3月までの予算執行を想定した中で、一般財源が確保できたことにより、2億円を基金へ積立が可能と試算し、今回、元金の積立を行うこととした。

観光課関係

問 本栖湖公衆トイレは、冬季に出入り口が凍結し危険である話を聞いたことがあるが、その対策も含まれているのか

答 今回の修繕で雨樋を設置するので、軒先から水が落ちるのを防ぐ事ができ、凍結防止に効果がある。

問 下部温泉早川インターチ

ェンジを降りて、下部方面に向かうトンネルの箇所下部温泉郷を案内する看板がない。今後、設置予定は

答 現在、地元観光協会からも要望を受け、設置に向けて取り組んでいる。

生涯学習課関係

問 現在、総合文化会館の駐車場が時間外は閉め切りとなっている。防犯カメラ等を設置したうえで利用できないか

答 今年度、国道側の駐車場の舗装工事を実施した。今回施設に至ったのは、ダンブ等の大型車両の進入や深夜の駐車場内での暴走等により、劣化が早まる原因にもなり、適正管理のため時間外は閉め切りにするという結論になった。

教育厚生常任委員会

委員長 芦澤健拓

▼議案第77号

山梨西部広域環境組合の設置に関する協議

環境上下水道課関係

問 ごみ処理施設候補地の選定の経緯と負担割合の根拠は

答 ごみ処理施設候補地は10月30日開催の、第11回峡北・中巨摩・峡南地域ごみ処理広域化推進協議会において、各市町の首長により決定された。負担割合は、平成30年7月26日開催の、第2回ごみ処理広域化推進協議会で協議され、一部事務組合の規約により、現在開催の定例会へ上程、協議をお願いする。

問 勤労青年センター管理費の電気設備変更業務に伴う工事負担金の変更内容は

答 昨年の台風でグラウンドの照明塔を撤去した。それに伴って契約を高圧から低圧に変更する工事を発注した。本線から施設に至るまでの間に必要な電線を引く工事負担金を支払う必要が生じたため。

問

候補地の中央市浅利地区は浸水想定区域だが、有事の対応はどう考えているか

答 施設については、今後、各種調査を進め、適正な工法等の検討を進めていく。



ごみ処理施設候補予定地

▼議案第78号

峡南地域教育支援センターの共同設置

学校教育課関係

問 センターに通えない不登校児童生徒に対する町の取り組み体制は

答 各学校の管理職も含めた教師が、家庭訪問をしながらセンターの紹介に努めている。

▼議案第79号

峡南地区ことばの教室共同設置協議会規約変更

学校教育課関係

問 町内から通っている児童生徒は、何人か

答 昨年度の実績として、9人の児童が通級した。

問 対象となる児童生徒は、学校ではなく、ことばの教室に通うのか

答 通級頻度は隔週や月1日程度で、家庭での指導方法等も教わるため、保護者と児童生徒が一緒に通う。

▼議案第81号

国民健康保険特別会計補正予算

町民課関係

問 国保税全体の収納見込額が減になっているのに、なぜ介護納付金分だけを減額とするのか

答 今年度の保険料の算定の結果、対象者の減により、賦課される金額が当初予算より減額されたため。

▼議案第82号

介護保険特別会計補正予算

福祉保健課関係

問 保険料が減額となった理由は

答 補助金交付申請後、上限額引き上げの決定を受けたため、事業費すべてが補助対象となり、国等負担分が増え、介護保険料負担分が減額となったため減額補正した。

▼議案第83号

介護サービス事業特別会計補正予算

福祉保健課関係

問 介護予防支援業務と介護予防ケアマネジメント業務のそれぞれの委託利用見込み件数は

答 介護予防支援業務は、新規2件、継続60件を見込み、介護予防ケアマネジメント業務は、新規5件、継続45件を見込んでいる。

質疑・討論

◎ 質疑

議案第89号

芦澤健拓議員 農林水産業施設災害復旧費で 西嶋地区

の鳥獣害防止柵と三石山の復旧工事と合わせて4535万5千円だが、西嶋地区の鳥獣害防止柵の延長は何mか、また災害の内容は

建設課長 西嶋西町地区の初

沢川の南面が土砂崩落し、既設の鳥獣害防止柵が延長70mにわたり被災、この復旧工事に工事金額200万円。

林道三石山線1号箇所、大袋集落の近くの延長39m、既設のモルタル吹付を施した法面が崩落した復旧申請金額が748万4千円。

2号箇所は三石山林道の、南部町との境で延長45m、モルタル吹付を施した法面が大規模に崩落、その復旧金額が3587万1千円。

◎ 討論

議案第77号

▼山梨西部広域環境組合の設置に関する協議

反対 渡辺文子議員

大地震や大型台風の危険が高まる中、ごみ処理施設を県西部地域で1カ所に集約することが適切なのか。

災害時にはリスク分散の観点からも集約化を見直すことが必要になっている。

建設予定地に決定した中央市浅利地区は、洪水ハザードマップによると想定浸水が5mから10mとされ、浸水が72時間以上続くとも言われている。洪水になった場合に施設への搬入が行われる対策は検討されているのか。

関係市町がそれぞれ負担金を払って建設する重要施設が、そうした対策が不明瞭なまま計画を進めているのか。

建設予定地に隣接する市川三郷町の住民から反対の声が多いと聞いているが、近隣住民の反対があるまま

計画を進めてよいのかなど、いろいろな問題があることから、現在の計画のまま進めることに反対。

賛成 上田孝二議員

令和元年10月30日にAブロック、11市町の首長会議協議において中央市浅利地区にごみ焼却施設の建設、一部事務組合による運営管理をしていくことを決定した議案。

この目的は市町村等における効率的なごみ処理を広域的に行っていくこと、環境型社会の形成に向けたリサイクル等の推進、最終処分量の削減、スケールメリットを生かした公共コストの削減である。

計画では環境影響調査に5年の歳月を設け、造成工事、建設に向けて、令和13年4月1日に供用開始するスケジュールである。また、河川の氾濫等の問題もあると思うが、現在、県で進められている山梨県国土強靱化計画において整備されるかと思いい、賛成。

賛成 川口福三議員

現在ある峡南衛生組合も平成5年9月の時点で、近隣集落との間で30年後には他所へ移転するという覚書がある。

また、県の計画においても県下を3ブロックに分けて集約化を計画しており、この計画に基づいて、山梨西部広域環境組合として設立し、1カ所へ集約して運営すると、経済面、施設面を考え、賛成。

議案第80号

▼令和元年度一般会計補正予算

反対 渡辺文子議員

清掃費の負担金47万円は議案第77号のための負担金なので反対。

賛成 上田孝二議員

この負担金は11市町間の決定事項なので賛成。

議案に対する賛否		伊藤雄波	伊藤達美	望月悟良	赤池朗	上田孝二	田中一泰	野島俊博	河井淳	芦澤健拓	福與三郎	渡辺文子	川口福三	広島法明	柿島良行	
(賛成：○・反対：×・棄権：△・欠席：欠)																
●その他																●議長は参加しない
議案第77号	山梨西部広域環境組合の設置に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○		
●補正予算																
議案第80号	令和元年度身延町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○		

出席議員全員賛成にて可決・同意・採択されたもの

- ・議案第72号 身延町附属機関設置条例の制定について
- ・議案第73号 地方公務員法及び地方自治の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
- ・議案第74号 身延町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- ・議案第75号 身延町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び身延町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第76号 新町建設計画の変更について
- ・議案第78号 峡南地域教育支援センターの共同設置について
- ・議案第79号 峡南地区ことばの教室共同設置協議会規約の変更について
- ・議案第81号 令和元年度身延町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・議案第82号 令和元年度身延町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- ・議案第83号 令和元年度身延町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
- ・議案第84号 令和元年度身延町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
- ・議案第85号 令和元年度身延町農業集落排水事業等特別会計補正予算（第1号）
- ・議案第86号 令和元年度身延町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ・諮問第2号 人権擁護委員候補者の推選につき意見を求めることについて（日向南沢 樋川すみ子氏 再任）
- ・諮問第3号 人権擁護委員候補者の推選につき意見を求めることについて（帯金 松野弘氏 新任）

○追加案件

- ・議案第87号 身延町職員給与条例の一部を改正する条例について
- ・議案第88号 身延町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第89号 令和元年度身延町一般会計補正予算（第6号）
- ・議案第90号 令和元年度身延町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- ・議案第91号 令和元年度身延町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・議案第92号 令和元年度身延町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- ・議案第93号 令和元年度身延町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
- ・議案第94号 令和元年度身延町農業集落排水事業等特別会計補正予算（第2号）
- ・議案第95号 令和元年度身延町下水道事業特別会計補正予算（第3号）

令和元年臨時会

第2回（8月5日）

- ・議案第59号 令和元年度身延町一般会計補正予算（第2号）
- ・議案第60号 財産の取得について

第3回（11月6日）

- ・議案第71号 令和元年度身延町一般会計補正予算（第4号）

組合議会報告

峡南衛生組合議会

報告者 河井 淳

- 臨時会 令和元年 12 月 26 日（木） ※いずれも可決
 - 議案第 7 号 ごみ処理場の設置及び管理に関する条例を廃止
 - 議案第 8 号 職員の給与に関する条例中一部改正
 - 議案第 9 号 令和元年度一般会計補正予算
- ◆火葬場追善供養
 - 峡南斎場・南部アルカディア聖苑火葬場追善供養

飯富病院議会

報告者 渡辺 文子

- ◎定例会 令和元年 12 月 20 日（金） ※いずれも可決
 - 議案第 6 号 職員の給与に関する条例中一部改正
 - 議案第 7 号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定

後期高齢者医療広域連合議会

報告者 田中 一泰

- ◎定例会 令和元年 10 月 29 日（火） ※いずれも認定・可決
 - 認定第 1 号 平成 30 年度一般会計歳入歳出決算認定
 - 認定第 2 号 平成 30 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
 - 議案第 1 号 令和元年度一般会計補正予算
 - 議案第 2 号 令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算

峡南広域行政組合議会

報告者 芦澤 健拓

- 臨時会 令和元年 12 月 25 日（水） ※いずれも可決
 - 議案第 16 号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定
 - 議案第 17 号 職員の給与に関する条例中一部改正
 - 議案第 18 号 令和元年度一般会計補正予算
 - 議案第 19 号 令和元年度介護保険特別会計補正予算
 - 議案第 20 号 令和元年度峡南ふるさと市町村圏特別会計補正予算

国中 6 町議会議員研修会

- 年月日 令和元年 11 月 27 日（水）
- 場 所 早川町役場
- 出席者 身延町・昭和町・市川三郷町・富士川町・早川町・南部町の各議員
- 演 題 「中部横断自動車がつなぐ山梨の未来」
長崎幸太郎山梨県知事
- 感 想 中部横断自動車道の早期全線開通が、物流やインバウンド観光等のインパクトとなることを話され、本県の発展に一層寄与されるものと確信した。



追跡

あの一般質問 どうなった

議員の質問への当局の対応、
回答後の現在は怎么样了

問

あけぼの大豆製品について、ソフト面を含めた新商品開発の現状と販路開拓は
(55号：平成30年6月議会) 伊藤達美議員

答

加工品レシピが完成。製造体制が整ったので、町内で一部商品の試験販売を実施中。新たにパッケージデザインを制作し、商品の販売を本格化し、地産地消を進めるとともに、ネット販売の環境を整備する。マーケティング調査を踏まえ検討していく。

現在

10月から11月にかけて県外スーパーなどで冷凍食品の試験販売を実施。静岡では知名度不足から売り上げは厳しかった。県外でのPRを強化したい。現在、味噌、蒸し大豆、ピザのパッケージ制作や町民向けカタログ冊子の制作を進めている。ネットショップは完成し、10月号の広報で周知した。今後、アクセス数を増やす方法を検討したい。

問

観光施設を含む公共施設のトイレは和式が多い。観光地として観光バスのお客様も多いことを考えると、洋式トイレへの見直しが必要だと考えるが
(47号：平成28年6月議会) 芦澤健拓議員

答

トイレについては町長の命を受け現在、調査中で、早ければ平成28年中にも改修を行っていく予定で計画を進めている。

現在

町内の観光施設のトイレを中心に34施設206個の便器を温水洗浄便座付き洋式便器に改修済み。
町民や観光客の皆様にも快適にご利用いただけるようになりました。



三門トイレ改修工事前



三門トイレ改修工事後

町長行政報告

望月 幹也 町長



中部横断自動車道の下部温泉早川IC

南部IC間、令和2年中の全線開通を期待

◇はじめに

本年5月には皇太子徳仁親王が天皇に即位され、元号が「平成」から「令和」に改元された。

9月・10月には台風15号・

19号が相次いで関東地方に上陸し、雨量・風速について観測史上最高の記録を更新し、多数の河川が氾濫し、大規模な浸水が発生するなど、かつて経験したことのない災害が発生した。本町でも土砂崩落や倒木、停電などが発生し、町民の皆様に変不便をかけたが、幸いにして人命に被害が無く安堵した次第である。防災対策の充実強化並びに、更なる体制強化の必要性を感じている。

●第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

役場内各所属から推薦された職員によるプロジェクトチームを6月に設置し、今後5

年間における必要な施策を提案、協議検討を進め、戦略策定支援業務を発注し、町民アンケートの実施、人口ビジョンの策定等の業務を進め、令和2年3月の策定を目指す。

●合併15周年記念事業

9月14日の記念式典をはじめとして、記念誌の発行、町の歌「おかえりなさい少年たちよ」の制定披露、29日に「出張！なんでも鑑定団イン身延」の公開収録、10月はスポーツ講演会、26日には町の歌を唄う「佐々木恵梨コンサート」などが実施された。

15周年を契機として熟成された町民の一体感を、今後20年、30年と将来の町づくりに繋げていけるよう町政に取組んでいく。

●民生委員児童委員並びに主任児童委員の一斉改選

3年に一度の全国一斉改選が行われ、12月1日付けで96人の委員が厚生労働大臣から委嘱され、新任56名、再任40名の皆さんへ委嘱状を伝達させていただいた。少子高齢化社会のなか、今後ますます民生委員・児童委員の職責、職務というのは重要性を帯びるということを感じた。町でも委員の皆さんと連携を密にしながら、今後も福祉のまちづくりに努めていく。

●中部横断自動車道

国土交通省及び中日本高速道路㈱、山梨県が整備を進めており、3月10日に新清水ジャンクション～富沢IC間、及び下部温泉早川IC～六郷IC間が開通、11月17日には富沢IC～南部IC間が開通した。残る下部温泉早川IC

～身延山IC～南部IC間については、令和2年中に開通と発表されており、早期の全線開通が期待される。

●教育委員会の編成

11月19日からの編成は、教育長が保坂新一氏、教育長職務代理者に佐野邦夫氏、教育委員に佐野貴宣氏、今村文子氏、若林裕子氏による教育委員会となった。



新たに就任した
若林裕子氏

【他に話されたこと】

- ・令和2年度当初予算編成
- ・身延町観光大使の委嘱
- ・スポーツ講演会

★表紙について (P1)

- ・運動会の雰囲気は伝わるいい写真だと思います。躍動感があって見ている方にも運動会の活気を感じるような表紙だと思います。ただ表紙に対して内容に表紙の記事が全く取り上げられないのも読者からすると拍子抜けするようにも思えます。どこでもいいから表紙に対するコメントを入れてもいいのかと感じました。

★一般質問 (P4~9)

- ・あけぼの大豆も生産者が増え、今年は豊作で生産量も上がったと思いますが、六次産業化で加工品も出てきていますが、消費者にはあまり浸透していないので、さらなる商品開発、販路拡大を期待します。
- ・相変わらず検討しますとか、取り組みます、と言う答弁が非常に多いですが、一般質問ではそのくらいしか答弁できないのが現状だと思います。しかしこうした意見が、何度も積み重なればやがては、目指すところまで届くのではないのでしょうか。
- ・プラやゴミのポイ捨てが最近目にあまる。徹底した対策をお願いしたい。

★追跡・議会基本条例 (P15)

- ・身延町議会基本条例期待しています。開かれた議会に、小中高生を交えた話し合いはいかがでしょうか。
- ・小中学校の防犯カメラの設置、せっかく設置が決まったのなら、設置だけでなく、その後の活用方法もしっかりと専門家の意見を聞いて防犯に役立つようお願いいたします。

★モニター通信 (P19)

- ・町民を代表して町政・議会に対し苦言を呈する場として、町政批判等の厳しい意見をもっと載せたらどうでしょうか。

モニター通信

(議会だよりNo.60の意見・感想等)

議会広報モニターの皆様のご意見・ご感想等を要約したものです。貴重なご意見等を参考に、町民の皆様の「心に伝わる」議会だよりを目指します。

★常任委員会レポート (P10~13)

- ・予算決算常任委員会：写真の必要があるのか甚だ疑問。予算執行額割りの委員会報告が欲しかった。
- 総務産業建設常任委員会：町職員報酬に関する質疑に終始した感がある。その定員の必要性・職務的外注可能性まで質問が及べば良かった。今の町行政にムダはないのか、見張るのが議会の仕事。頭デッカチで体が貧弱だったらロクな仕事が出来るとは思えない。
- 教育厚生常任委員会：特になし。懇談会告知をここで入れる必要性が見つからない。予算決算常任委員会の写真といい、スペースを埋めるより委員会報告を優先すべきでは。

★議員研修ほか (P16・17)

- ・議会広報誌はどうしたら見てくれる？私のまわりに聞いてみても「読んでる。」って人はあまりいません。私も読んでいてもあまり面白いとは思いません。広報研修会出席の成果で、わかりやすく、読みやすい議会広報を期待しております。

★おじゃまします (P16)

- ・下部温泉の泉質は素晴らしい。おいに活性化を期待するが、女将会の力では限界がある。身延駅前しょうにん通りのように、国の補助を受けて景観等の整備したらどうでしょうか。

★決算報告 (P2・3)

- ・歳入面で、自主財源が人口減少等により減額となっていますが、やはり身延町の最大の課題は人口減少にあります。そこで、意見書でも指摘されているようにこれまでの事業を是正改善し、産業育成とそれに伴う顧客拡充を図り、税収を増やすよう取り組みが必要だと思います。
- ・どれも削れない予算だと思うが、削れないのであれば増やすことを考えたかどうか。働く世代の人口流入を真剣に考えるべきだと思う。
- ・昨年と比較できる表がほしい。推移も気になります。

★討論・議案に対する賛否 (P14)

- ・通学対策事業費に1億3800万円というのは大層な努力だとは思いますが、育児世代のホンネを聞いてみたほうがいい。スクールバス方式は効率的に見えて、それでいて使い勝手が悪い。安全性確保の手段としてはそれなりに思える。ロングライドのルート線運行とエリア内の常時ループ運行を組み合わせると利用勝手を広げて欲しい。スクールバスの登下校時間帯以外利用を多方面に広げるくらいの発想がないものか。

★町長行政報告 (P18)

- ・今回の台風(19号)が集中豪雨だったために、水の災害が各地で起こりました。教訓として、避難場所が正しかったのか。が問われます。身延町が現在指定している場所はいかがでしょう。「低地なので家に居た方が安全」とお考えの声も耳にします。避難場所の再検討が必要かも知れません。

★町政全般についての意見、要望等

- ・報道によると平成の大合併をしなかった小規模町村が堅実な運営をしているそうです。翻って本町のように住民交流もない町が機械的に合併した自治体は、財政・施策の面で望むような成果が得られず住民の不満が高まっているという。結局、地域や住民を無視した国からの脅しのような押しつけに無批判に従ったためにこのような結果になったと思います。合併に賛同した首長や議会の責任は大きい。議会は上を見ず、住民を見て判断を下すべきですね。



おじやまします



修行走で地域活性化と観光振興を

身延山七面山修行走実行委員会



身延山七面山修行走・Monk's Runは、身延山・七面山を利用したトレイルランニングレースで、参加者約800人、運営スタッフとボランティア約100人で実施しており、今年度で7年目になりました。

身延山、七面山は世界に誇るべきパワースポットであり、古来より僧侶のみならず多くの方々が修行の道と位置付けてきました。特に身延山から七面山へ参る参道は過去には多くの信仰者が行きかい、現在でもその歴史を感じられる場所です。

この道を舞台に身延山七面山修行走・Monk's Runを開催することにより、多くの方に雄大な自然、歴史や文化、修行の精神に触れて心身ともに充足感を味わって、2度3度と訪れていただくことで、地域活性化と観光振興に資することを目的に開催しています。



編集後記

議会広報編集委員会

委員長 赤池 朗
副委員長 伊藤達美
委員 伊藤雄波
望月悟良
上田孝二
広島法明

山梨県広報コンクールにおいて、本町議会広報誌60号が町村の部で最優秀賞を受賞しました。
これを励みに、今後も町民のみならずまに分かりやすく、親しんで読んでいただける広報誌づくりに努めていきます。
(伊藤雄波)



次回開催には選手・スタッフとして参加してみませんか？

お問い合わせ

〒409-2524 身延町身延3747
修行走実行委員会事務局（佐野）
☎ 0556-62-0504
修行走HP <http://www.shugyoso.com/>